

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	3-3 安全安心で快適な地域を創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 地域環境課	吉原 直樹
施策名	4 豊かできれいな海づくり、くらしやすい環境づくりの推進	事業群関係課(室)	諫早湾干拓課、水環境対策課	
事業群名	① 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額 510,421	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
閉鎖性の強い海域である大村湾の環境保全と活性化を図るため、流入負荷抑制対策、生物多様性の保全及び流域住民の親水意識醸成等に取り組みます。 また、諫早湾干拓調整池の水質改善のため、流入負荷削減対策など、国、県、市の関係機関で連携して取り組みます。		i) 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善 ii) 大村湾周辺の里海づくり								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	【進捗状況の分析】 大村湾及び諫早湾干拓調整池の水質対策については、地域住民、市町及び関係機関と連携して、生活排水対策や下水道の整備、工場排水対策等、流域から流入する負荷削減対策を進めている。 令和4年度の大村湾の水質は、COD75%値平均としては目標を達成できたが、依然として湾奥部を中心に基準超過地点がみられ、大雨による流域からの負荷流入などさまざまな要因が考えられる。 また、諫早湾干拓調整池の水質は目標値を超過した状況が続いており、流域からの汚濁負荷や調整池内の底泥の巻き上げ、水温上昇による植物プランクトンの増大などさまざまな要因が考えられる。	
	大村湾の水質 (COD※75%値平均) ※COD(化学的酸素要求量)の略。海域、湖沼の水の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す指標。	目標値①	/	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L		2.0mg/L (R7)
		実績値②	2.0mg/L (R元)	2.4mg/L	2.0mg/L	/	/	/		進捗状況
		達成率②/①	/	0%	100%	/	/	/		順調
	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)		
	諫早湾干拓調整池の水質 (COD 75%値平均)	目標値①	/	—	—	—	—	5.0mg/L		5.0mg/L (R7)
	実績値②	8.6mg/L (R元)	8.0mg/L	9.3mg/L	/	/	/	進捗状況		
	達成率②/①	/	—	—	/	/	/	—		

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等		
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率	
				R4実績					R4目標	R4実績			
				R5計画	事業実施の根拠法令等			R5目標					
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	令和4年度事業の実施状況(令和5年度新規・補正事業は事業内容)					
				所管課(室)名	事業対象								
取組項目 i ii	○	1	みらいにつなぐ大村湾事業		5,472	4,228	7,790	大村湾の環境改善や沿岸を含む地域活性化を図るため、造成済みの浅場を活用した環境学習、関係団体と連携した大村湾内の浮遊ごみの除去などを実施した。	【活動指標】	2	2	100%	●事業の成果 ・COD75%値平均としては目標を達成できたが、大雨による流域からの負荷流入などさまざまな要因により、湾奥部を中心に基準超過地点がある。 ・造成済みの浅場を活用した小学生親子などを対象とする浅場体験学習や大村湾沿岸域での生物調査による体験活動を通じて、水質保全の必要性に関する啓発を行った。 ●事業群の目標達成への寄与 ・住民や協力機関を交えながら浅場の維持・管理を行うことにより、親水意識醸成を図るとともに水質改善に寄与した。
					6,081	5,264	7,653			2	3	150%	
					4,913	3,331	7,716			5	/	/	
			R元-5	第4期大村湾環境保全・活性化行動計画			【成果指標】		2.0	2.4	0%		
				地域環境課	—	—			—	大村湾の水質(COD 75%値平均)(mg/L)	2.0	2.0	
			地域環境課	—	—	—	大村湾流域	2.0	/	/			

取組項目	2	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	4,563	45	6,232	「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画(R元～R7)」を推進するため、各種事業の進捗管理を行った。	【活動指標】	3,000	90	3%	●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各種イベントの多くが中止される中、一部イベントにおいて水質保全に関する啓発活動を行うとともに、窓口で啓発チラシを配布し、意識醸成に一定つながった。 ・関係機関、関係者が連携し、一体となって取組を実施したが、水質改善にまで至らなかった。		
			5,474	0	6,122		諫干イベント参加者数(人)	3,000	1,000	33%			
			6,333	239	6,173		【成果指標】	—	8.0	—			
		第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画			諫早湾干拓調整池の水質(COD mg/L)		—	9.3	—				
			H25-地域環境課	—	—	—	諫早湾干拓調整池	【活動指標】	5	4		80%	
	3	(企)大村湾南部流域下水道事業費(公共)	603,877	0	—	大村湾南部流域下水道事業については、下水道の普及が一定進んでいるため、水処理施設の高度処理化にウエイトを置いて事業を推進している。なお、事業の推進のためには、流域関連市との連携が必要であることから、議論を進めていく場として協議会を設けている。 令和4年度は大村湾南部浄化センターの水処理施設を高度処理化する工事や、ストックマネジメント計画に基づく浄化センター内の主流入ゲートなどの設備更新を進めるとともに、汚水流入量の増加に対応したポンプの増設等を行った。	【活動指標】	5	4	80%		●事業の成果 ・高度処理化工事や浄化センター内設備の更新工事、汚水ポンプの増設工事など、汚水処理施設の整備を図った。 ●事業群の目標達成への寄与 ・高度処理化工事等を推進することにより、大村湾の水質改善に寄与した。	
			490,366	0	—		協議会等開催回数(回)	5	5	100%			
			1,042,829	0	—		【成果指標】	100	100	100%			
		下水道法			放流水質の遵守基準の達成率(%)	100	100	100%					
			H5-R12	—	—	○	大村湾流域	【活動指標】	3	3			100%
	4	諫早湾周辺地域環境保全型農業推進事業	8,500	0	17,917	諫早湾周辺地域において、ブロックリー、タマネギ等の減肥技術試験圃設置による環境保全型農業の現地実証、研修会での浅水代かきや土壌流出防止に向けたカバークロープ取組み推進の周知、啓発チラシの配布を行い、環境に優しい農業の推進を図った。	【活動指標】	3	3	100%			●事業の成果 ・肥料使用量削減等の環境保全型農業による現地実証や啓発等により、環境に優しい農業の推進が図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・現地実証や啓発等により、諫早湾干拓調整池の水質改善目標達成に向け寄与した。
			8,500	0	17,602		国、関係機関との事業打合せ(回)	3	3	100%			
8,500			0	17,747	【成果指標】		3	3	100%				
H25-R5			啓発活動等の実施(現地実証・研修会・チラシ作成)(回)	3	3	100%							
		諫早湾干拓課	—	○	—	諫早湾干拓調整池	【活動指標】	3	3	100%			

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	<p>●実績の検証及び解決すべき課題 (大村湾関係) ・流域住民が日々の暮らしと大村湾のつながりを意識し、大村湾を宝の海として将来へ受け継いでいくためには、人々の親水意識の向上が不可欠である。 (諫早湾干拓調整池関係) ・水質保全目標を達成していない要因として、流域からの生活排水や施肥・農業使用に伴う面源由来の汚濁負荷だけでなく、降水量の増減、水温の上昇などの気象による影響など、複数の要因が存在する。 ・行動計画に掲げる各種の対策を着実に実行する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 (大村湾関係) ・従来から実施している浅場における環境学習に加えて、過年度の大村湾沿岸域生き物調査の結果をもとに作成した『大村湾の生きもの探しガイドブック』を活用し、流域住民参加型の環境体験学習を沿岸地域で実施していく。 (諫早湾干拓調整池関係) ・「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」に基づき、引き続き関係機関一体となって各種施策を進めていく。 ・行動計画に掲げる各種の対策が着実に実行されるよう幹事会での進捗管理を図っていくとともに、追加対策についても検討を進めていく。</p>
ii	大村湾周辺の里海づくり	<p>●実績の検証及び解決すべき課題 ・造成した浅場は、鳥やエイ等の捕食跡や二枚貝の幼生の生息が確認されており、生物の生息の場として機能していると考えられることから、今後も継続した維持管理を行う必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 ・造成した浅場の利活用及び維持・管理について、関係団体と協力し、流域住民を交えて実施していく。</p>

#### 4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容		令和6年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しがしない場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 ii	○	1	みらいにつなぐ大村湾事業	流域住民参加型の環境体験学習(浅場環境学習や生き物調査)を開催するにあたり、『大村湾の生きもの探しガイドブック』の活用や普及に努めるとともに、開催時期や内容、周知方法など柔軟に対応し、これまでに未実施の市町も含めた複数市町で実施する。	③⑤⑦	大村湾の水質改善や里海づくりを推進するため、関係団体と連携し大村湾内の浮遊ごみの除去を継続するとともに、沿岸域生き物調査で得たデータを踏まえて作成した『大村湾の生きもの探しガイドブック』について、各市町が実施する環境学習への普及を進めていく。	改善
			R元-5				
			地域環境課				
取組項目 i		2	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	諫早湾干拓調整池は、水質保全目標を達成していない状況にあることから、効果的な調整池の水質改善対策について、関係機関と協議及び検討を進めていく。	③⑤⑦	諫早湾干拓調整池の水質改善のためには、関係機関が一体となって取り組む必要があり、「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」に掲げる各種対策を推進するとともに、九州農政局等関係機関と連携して追加対策についても検討を進めていく。	改善
			H25-				
			地域環境課				

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点